



# LEDフォグランプ 専用ブラケット&ハーネスキット 取扱説明書

※ このファイルは、関連する複数製品の取付要領書を1つにまとめたものです。  
実際の商品には、それぞれの製品ごとの取付要領書が同梱されています。

## 目次

↓ご覧になりたい項目をクリックしてください。

● LEDフォグランプ 取扱説明書	2
・安全上の注意	3
・構成部品	3
・ランプの取付け方法	4
・配線方法	5
・取付完了後の点検	5
● 専用ブラケット&ハーネスキット 取扱説明書	6
・構成部品	7
・取付け方法	7
・配線方法	8
・安全上の注意	9



LED FOG LAMP  
LED-FL12S

保安基準適合品

## 取扱説明書

この度は、KOITO 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

お取付け、配線の前に本取扱説明書を必ずお読み下さい。

取扱説明書に基づき、間違い無く配線し、お取付け下さい。

記載内容をお守りいただけない場合、本製品の機能を発揮できず、故障及びケガの恐れがあります。

お読みになった後も大切に保管し、必要な時にお読み下さい。

\*2008年7月11日付保安基準改正により、本製品は2013年7月11日以降の生産車には取付け出来ません。

\*本製品の光源はLEDを使用しております。電球タイプの様に光源のみを交換する事は出来ません。

\*別売のKOITO LED FOG LAMP 専用ブラケット & ハーネスキット (品番: S8500) は自動車専用です。

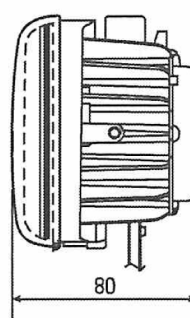
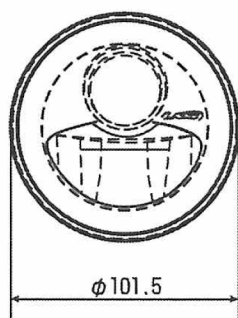
二輪車には使用出来ません。ご購入につきましては、販売店にお問合せ下さい。

\*本製品を二輪車に取付ける場合は、お乗りの車両の仕様に合ったブラケットをご準備下さい。

- 本製品の取扱い・取付けは必ず専門の整備工場で行って下さい。
- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止し、安全にお使い頂く為に必ずお守りいただくことを、次の様に説明しています。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を、下記の表示で分類し、注意しています。

<b>⚠ 警告</b>	この表示は、「死亡または重傷を負う危険が想定される」内容です。
<b>⚠ 注意</b>	この表示は、「障害を負うか又は物的損害が発生する危険が想定される」内容です。

■ 製品寸法 (mm)



安全を光に託して  
**KOITO**

## 安全上の注意

<p><b>⚠警告</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車・二輪車用フロントフォグランプ以外での使用はしないで下さい。重大事故の原因となることがあります。</li> <li>●本製品を分解・改造しないで下さい。感電・故障の原因となります。</li> <li>●レンズ、ボディが破損したまま使用しないで下さい。雨水が浸入して故障の原因になったり、車両火災等の重大事故の原因となります。</li> <li>●点灯中のランプを間近で長時間見つめないで下さい。目が痛くなったり、視力障害の原因となる恐れがあります。</li> <li>●本製品の取付け作業は、安全めがねを着用して行って下さい。</li> <li>●エンジンルーム、マフラーなどの付近で取付けを行う際は、必ず各部が冷えていることを十分確認後、作業を開始して下さい。(熱い状態で作業を行うと、火傷などの重大な傷害を負う場合があります。)</li> <li>●点灯中および消灯直後のランプは、高温となっており、火傷の原因となることがありますので、手や肌などを触れないで下さい。</li> <li>●ハーネスの被覆に損傷が発生した場合は、直ちに使用を中止して下さい。</li> <li>●本製品に物をぶつけたり、無理な力を加えたり、傷をつけたりしないで下さい。破損した場合、ケガをすることがあります。</li> <li>●走行中に異常な振動や音等を感じたら、直ちに安全な場所に停車し、よく点検して下さい。(そのまま走行を続けると、重大な事故となる場合があります。)</li> <li>●ランプ取付けスクリュー類は、緩みの有無を確認し、増し締めして下さい。走行ブレが発生した場合は、直ちにランプ及びブラケット等の取付け部を点検、増し締めして下さい。</li> </ul>
<p><b>⚠注意</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品は 12V 用です。12V 車に使用して下さい。</li> <li>●本製品の光源は LED を使用しております。電球タイプの様に光源のみを交換することはできません。</li> <li>●本製品は十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱い条件、走行条件によっては、破損し点灯不良等の恐れがあります。保管、取付け作業、ご使用に際しては十分にご注意下さい。</li> <li>●本製品取付け後に衝突などの強い衝撃を受けた場合、取付け部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をおやめ下さい。</li> <li>●バッテリーへのハーネスの取付けは、極性をよく確認し、間違えない様に取付けて下さい。</li> <li>●お乗りのお車が充電制御車の場合、本製品を直接バッテリーに接続しないで下さい。 充電制御車は通常のお車に比べ、バッテリーへの負荷が高いため、バッテリー上がりの原因となることがあります。 ※充電制御車とは、走行状態とバッテリーの充電状態に応じてオルタネーター（発電機）を制御するシステムを搭載した車のことです。</li> <li>●バッテリー保護のため、エンジン停止時の長時間点灯はお避け下さい。</li> <li>●汚れを落とす際は、中性洗剤を使用して下さい。溶剤を使用するとレンズ割れ等により、点灯不良となる場合があります。溶剤が付着してしまった場合は、付着した溶剤を直ちに流水で洗い流して下さい。</li> </ul>

## 構成部品

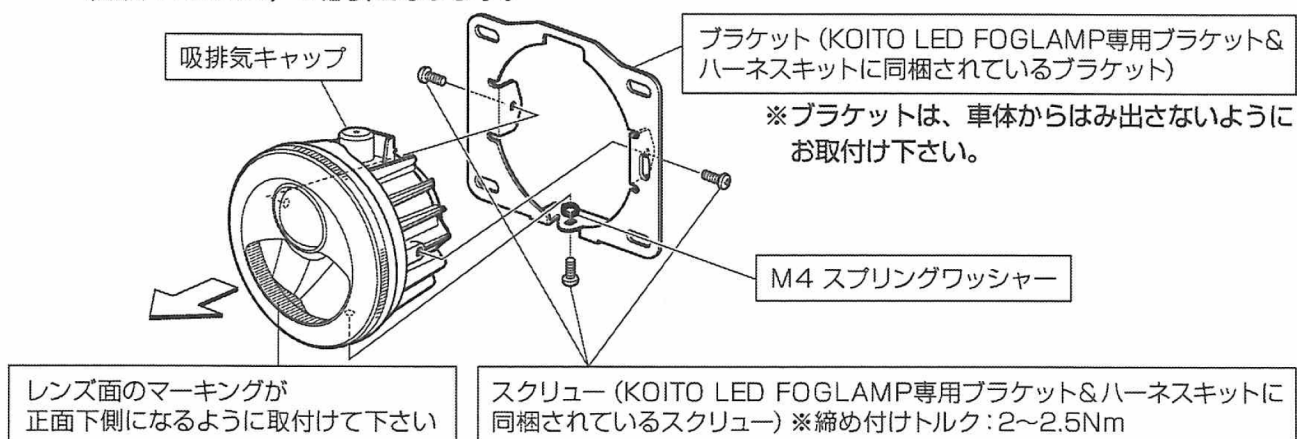
	部品名	数量
①	ランプ本体	2
②	取扱説明書・保証書	1

## ランプの取付け方法

### ⚠️ 注意

- 穴あけ作業には、必ず保護メガネを装着して下さい。
- 車両を傷つけないよう注意して穴あけ作業をして下さい。
- スクリューの締め付けはスクリューにあった工具を使用して下さい。スクリューをいためたり、しっかり固定できずに外れたりして危険です。
- スクリューは、指定の締め付けトルクに従って締め付けて下さい。強く締め付けると破損の原因となります。
- 本製品は、ランプ上端に吸排気孔がつけられていますので必ずランプが正立するように取付けて下さい。レンズ曇り、水侵入による故障となることがあります。
- コードはブッシング根元で急激に曲げないで下さい。ブッシングに隙間が生じ、水・ホコリが侵入する恐れがあります。
- 吸排気孔のキャップは外さないで下さい。水侵入により故障となることがあります。

取付け図 ※本製品を自動車に取付けるためには、別売りの KOITO LED FOGLAMP 専用ブラケット & ハーネスキット (品番：S8500) が必要となります。



※本製品を二輪車に取付ける場合は、お乗りの車両の仕様に合ったブラケットをご準備の上、お取付け下さい。安全のため、ブラケットは鋭い突起や鋭利な部分がないものをご準備下さい。

### ■ 取付位置

#### (自動車の場合)

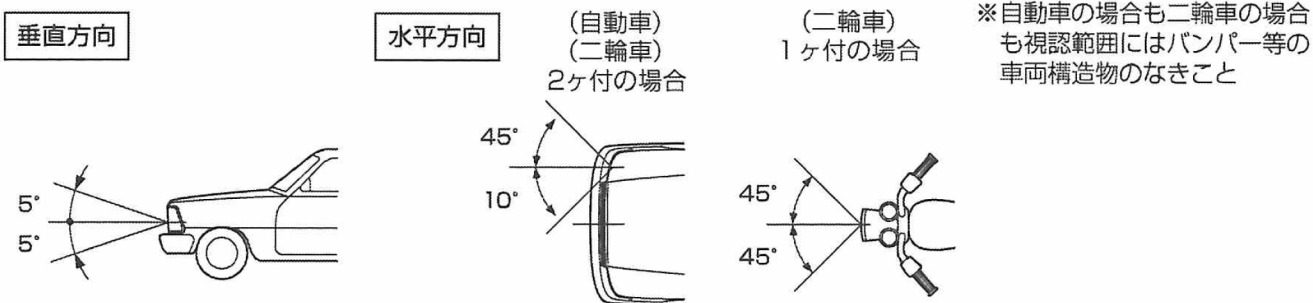
- ランプ部の上縁の高さが地上 0.8m 以下、かつヘッドランプ (ロービーム) の上縁以下となるよう取付けて下さい。また、下縁の高さが地上 0.25m 以上となるよう取付けて下さい。
- ランプ部の最外縁は車両の最外縁から 400mm 以内となるよう取付けて下さい。
- 車両中心面に対して対称の位置に取付けて下さい。
- 振動・衝撃等により照射光の方向が狂わないようしっかりと取付けて下さい。

#### (二輪車の場合)



- ランプ部の中心がヘッドランプ (ロービーム) の中心を含む水平面以下になるよう取付けて下さい。
- 車両中心面に対して対称の位置に取付けて下さい。(但し、1ヶ付の場合を除く)
- 振動・衝撃等により照射光の方向が狂わないようしっかりと取付けて下さい。

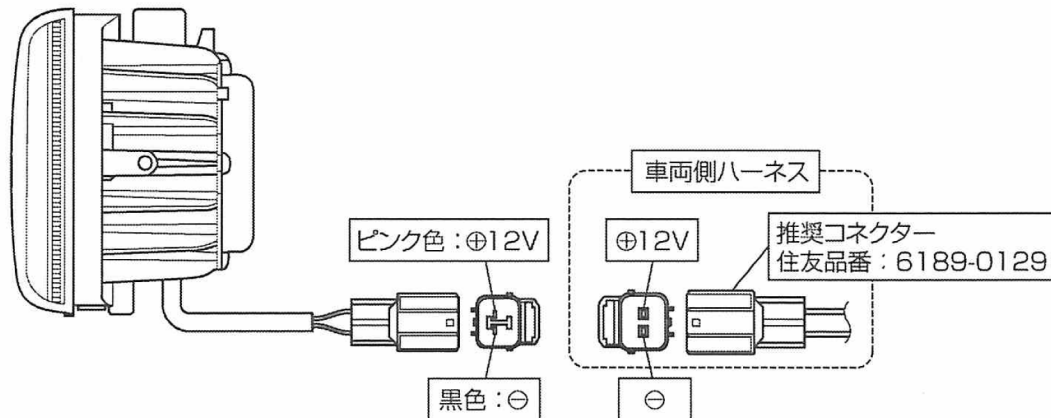
### ■ 視認角度

- 視認角度は下図の範囲内の全ての位置から照明部が見えるように取付けて下さい。



## 配線方法

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●配線作業をする前に、必ずバッテリーのアース側端子を外して下さい。ショートにより火災となることがあります。 (バッテリーの端子を脱着する場合は必ずエンジンスイッチ及びライティングスイッチを OFF にして下さい。)</li> <li>●ランプと車両との接続は、専用コネクタを使って確実に接続して下さい。車両火災となることがあります。</li> <li>●コードが車両や他の部品と接触する恐れがあるところは、損傷防止と振れ止めのため、クランプ又はビニールテープで固定して下さい。損傷しショートにより火災となることがあります。</li> </ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプの⊕⊖を間違えない様、接続して下さい。故障となります。</li> <li>●車両のハーネスを強く引っ張らないで下さい。</li> <li>●車両のコネクタを外す際は、コード線を引っ張らず、コネクタ本体を持って外して下さい。</li> <li>●取付け終了後、ヘッドランプ等の灯火類、ワイパー等が正常に作動するか確認して下さい。</li> <li>●バッテリーのアース端子を外すと、時計、ラジオ、オーディオ等のメモリーが消えますので、作業終了後復元して下さい。(復元の仕方は、車両の取扱説明書を参照して下さい。)</li> <li>●フォグランプの点灯状態が運転者に判るようにインジケータ付スイッチ等を必ずご使用下さい。</li> <li>●フォグランプは車幅灯、尾灯、番号灯が消灯している場合には点灯出来ません。</li> </ul>



- 車両側ハーネス⊕線を、LED フォグランプの⊕線（ピンク色ハーネス）に接続して下さい。  
⊕⊖を逆に接続すると故障となります。
- 車両側ハーネスは AVSO.3 以上のものをご使用下さい。
- コネクタまでの配線にはヒューズをお使い下さい。(ヒューズ定格：3A)

## 取付け完了後の点検

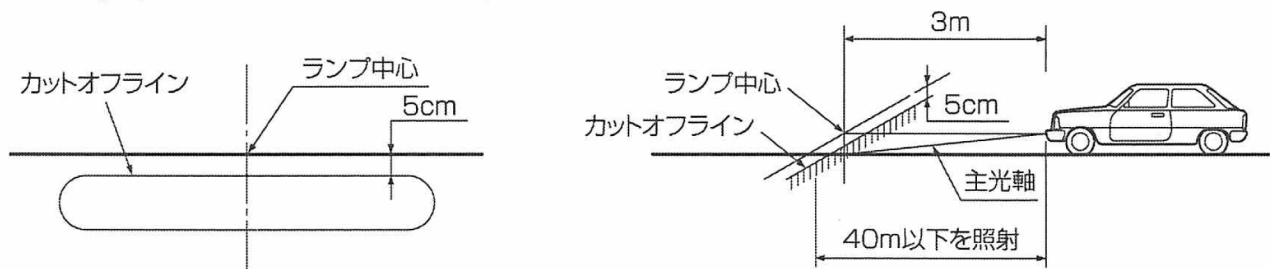
※本製品は道路運送車両の保安基準第 33 条（前部霧灯）が適用されます。

### ■ 装備規制

- お車（含む、二輪車）に予めフォグランプが装着されている場合、本製品取付け後は、既存フォグランプの点灯をしないで下さい。(保安基準第 33 条により、同時に 3 個以上の点灯は出来ません。)

### ■ 光軸調整（配光確認）

- 光軸は下図のとおりとなるよう調整して下さい。



- ①主光軸は前方 40m 以上照射しないように調整して下さい。
- ②図のようにフォグランプを点灯して 3m 前方のスクリーン上に照射し、カットオフラインを基準にして照準を合わせて下さい。

※主光軸：最高光度帯の中心  
カットオフライン：明暗境界線

# KOITO LED FOG LAMP 専用 ブラケット&ハーネス キット

S8500

## 取扱説明書

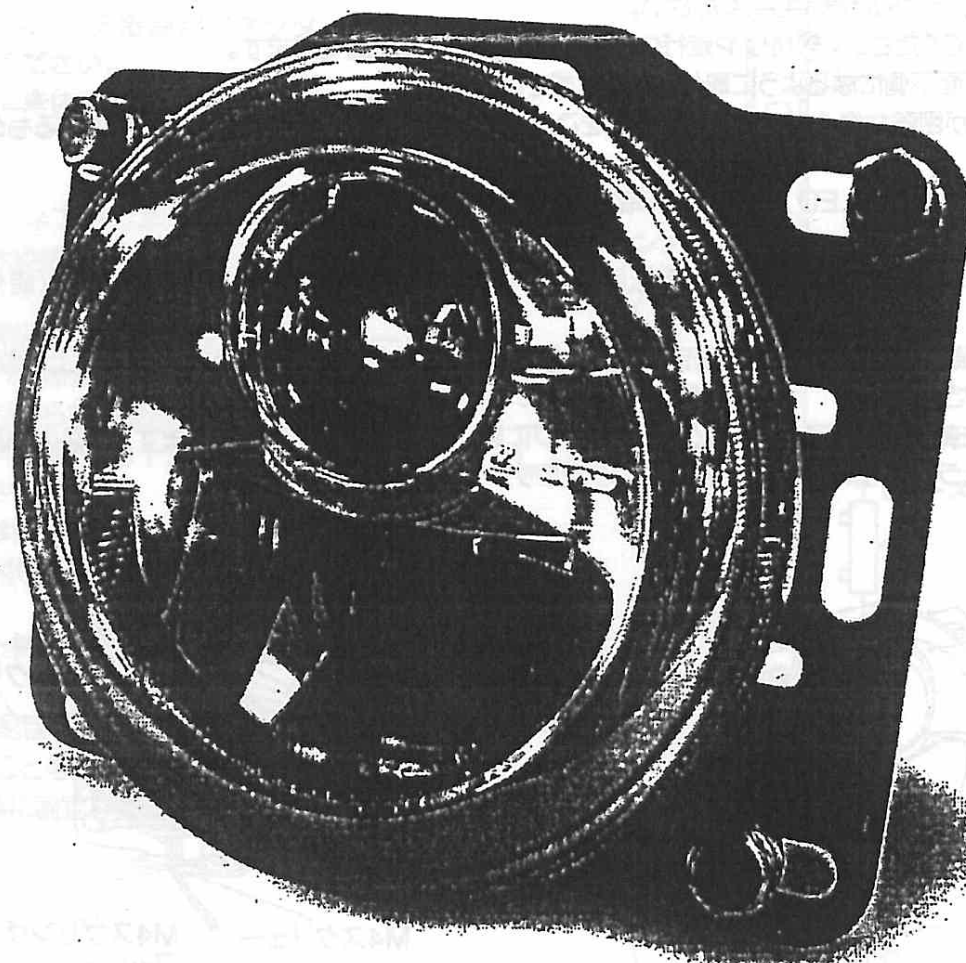
この度は、POLARG 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

お取付け、配線の前に本取扱説明書を必ずお読みください。

取扱説明書に基づき、間違い無く配線し、お取付けください。

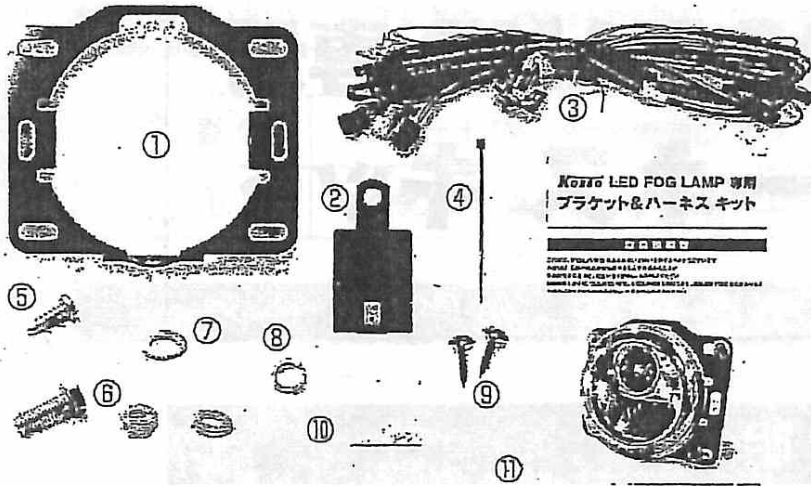
記載内容をお守りいただけない場合、本製品の機能を発揮できず、故障及びケガの恐れがあります。

お読みになった後も大切に保管し、必要な時にお読みください。





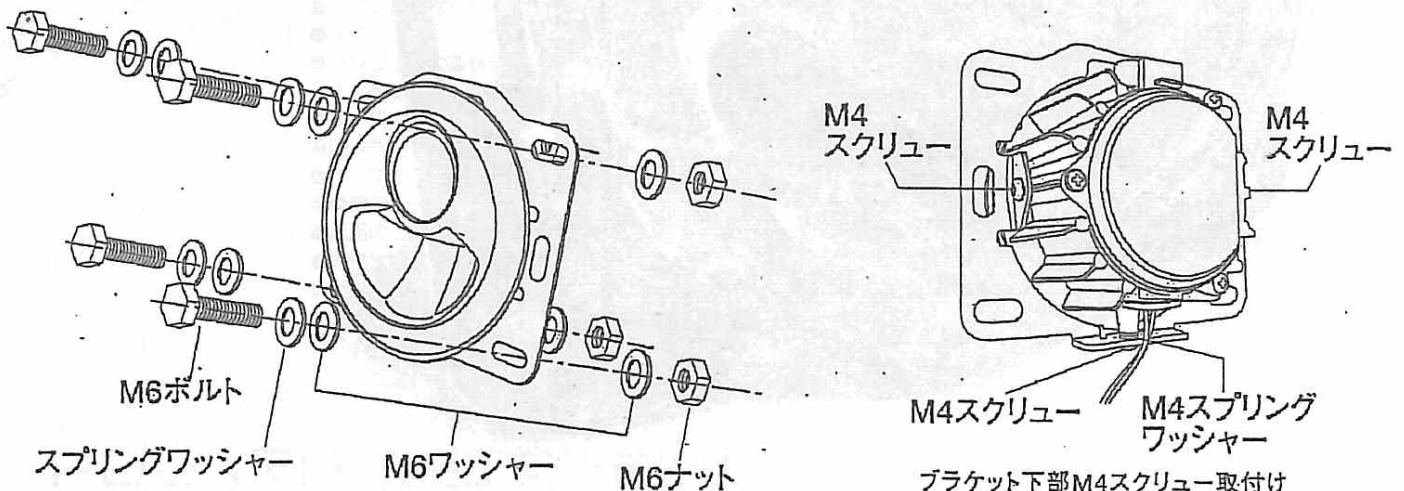
## 構成部品



	部品名	数量
①	ブラケット	2
②	リレー	1
③	ハーネス&スイッチ	1
④	コードバンド	5
⑤	M4スクリー	6
⑥	M6ボルト・M6ナット・スプリングワッシャー	各8
⑦	M6ワッシャー	16
⑧	M4スプリングワッシャー	2
⑨	スイッチ用スクリー (黒)	2
⑩	スイッチ用両面テープ	1
⑪	取扱説明書	1

## 取付け方法

- (1) ランプとブラケットを付属のM4スクリーで3ヶ所、仮固定してください。
- (2) ブラケットを付属のM6ボルト・M6ナットで4ヶ所、車体に取付けてください。(締付けトルク:9.0N・m)
  - ランプ主光軸が40m前方を照射しない様、角度を調整して取付けてください。
  - ブラケットにガタがない様、しっかりと固定してください。
  - 樹脂部への取付けは、避けてください。締付けや走行中の振動で破損する恐れがあります。
  - レンズ面のマーキングが正面下側になるように取付けしてください。
  - ブラケットのみでの取付けが困難な場合は、別途曲げ金具をご使用ください。曲げ金具は十分な強度のあるものをお選びください。
 ※取付け位置に関しましては、KOITO LED FOG LAMP取扱説明書をご確認ください。
- (3) 配線接続後、光軸調整を行った後、ランプとブラケットを固定するM4スクリーを本締めしてください。(締付けトルク:2.0~2.5N・m)
  - M4スクリーでの固定は繰り返し行うことが出来ません。取付け前に取付け方法や配光を十分確認の上、固定のやり直しがない様行ってください。
 ※本製品はエイミング機能を持たせている為、ブラケットとランプに隙間が発生する場合があります。下図の場所に取付ける際は、ブラケットとランプの間に付属のM4スプリングワッシャーを入れてください。

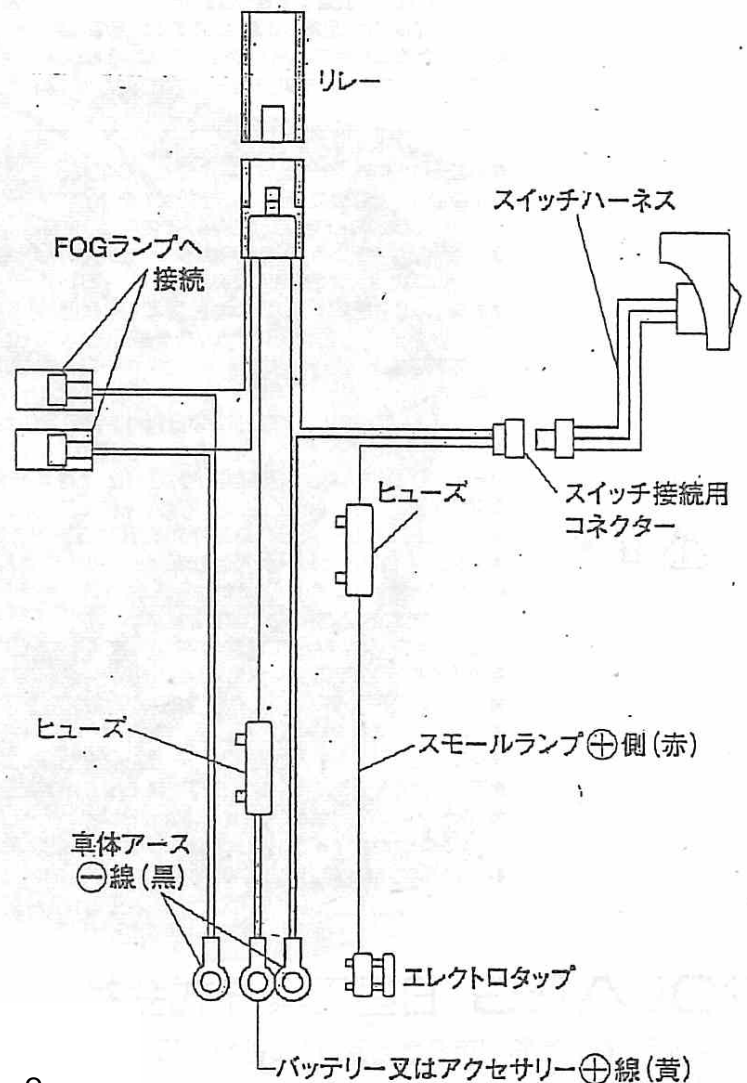


ブラケット下部M4スクリー取付けの際は、ランプとブラケットの間にM4スプリングワッシャーを入れて下さい。

## 配線方法

以下の配線方法はマイナスボディアース車の配線方法です。  
プラスボディアース車は⊕と⊖を逆にしてください。

- (1) バッテリーのアース側端子を取外してください。  
○必ずエンジンスイッチ及びライティングスイッチをOFFにしてください。  
○バッテリーのアース側端子を取外すとラジオ、オーディオ、時計などのメモリーが消えますので配線作業終了後、復元してください。
- (2) 赤線のエレクトロタップを車体のスモールランプの⊕線にかしめてください。  
黄線・丸型端子を、バッテリー又はアクセサリースイッチオンで作動する⊕コードに接続してください。  
アクセサリースイッチオンで作動するコードに接続の際はヒューズの容量が残り3A以上あるコードに接続してください。
- (3) 左右のランプのコネクタにハーネスのコネクタを接続してください。
- (4) 2箇所の黒線・丸型端子を車体に確実にアースしてください。  
※アース部が塗装されている場合は、塗装を剥がして取付けてください。塗装されたまま取付けるとアース不良の原因となります。
- (5) リレーは必ずコネクタ部が下向きになるように車体に取り付け、カチッと音がするまでしっかりはめ込んでください。  
○高温になる場所は避けてください。  
○バッテリー液など、端子部が腐食しやすい溶液が掛かる場所は避けてください。
- (6) ハーネスのスイッチ接続用コネクタを車内に引き込んでください。  
○引き込みは車体既設グロメット等を通して行ってください。
- (7) スイッチハーネスのコネクタとスイッチ接続用コネクタを接続してください。
- (8) スイッチは両面テープとスイッチ用スクリュー（黒）でメーターパネル付近に固定してください。  
○直射日光が当たらない場所に取り付けてください。  
○取付け面の汚れ等は十分に拭き取ってから取付けてください。  
○スイッチは運転者が運転席で作動を確認できる位置に取り付けてください。
- (9) バッテリーのアース側端子を取付けてください。
- (10) ハーネスの配回しが車両の回転部及び高熱部に触れていないことを確認し、余ったハーネスはコードバンドで車体に固定してください。







※2008年7月11日付保安基準改正により、本製品は2013年7月11日以降の生産車には取付け出来ません。

※本製品は小糸社製LED FOG LAMP (品番LED-FL12S) 専用です。他の製品にはご使用になれません。



●本製品の取扱い・取付けは必ず専門の整備工場で行ってください。

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止し、安全にお使い頂く為に必ずお守りいただくことを、次の様に説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を、下記の表示で分類し、注意しています。

 <b>警告</b>	この表示は、「死亡または重傷などを負う危険が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、「障害を負うか又は物的損害が発生する危険が想定される」内容です。

## 安全上の注意

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車用フロントフォグランプ以外での使用はしないでください。重大事故の原因となることがあります。</li> <li>●本製品を分解・改造しないでください。感電・故障の原因となります。</li> <li>●レンズ、ボディが破損したまま使用しないでください。雨水が浸入して故障の原因になったり、車両火災等の重大事故の原因となります。</li> <li>●点灯中のランプを間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となる恐れがあります。</li> <li>●本製品の取付け作業は、安全めがねを着用して行ってください。</li> <li>●エンジンルーム、マフラーなどの付近で取付けを行う際は、必ず各部が冷えていることを十分確認後、作業を開始してください。(熱い状態で作業を行うと、火傷などの重大な被害を負う場合があります。)</li> <li>●点灯中および消灯直後のランプは、高温となっており、火傷の原因となることがありますので、手や肌などを触れないでください。</li> <li>●ハーネスの被覆に損傷が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。</li> <li>●本製品に物をぶつけたり、無理な力を加えたり、傷をつけたりしないでください。破損した場合、ケガをすることがあります。</li> <li>●走行中に異常な振動や音等を感じたら、直ちに安全な場所に停車し、よく点検してください。(そのまま走行を続けると、重大な事故となる場合があります。)</li> <li>●ランプ取付けスクルー類は、緩みの有無を確認し、増し締めしてください。走行ブレが発生した場合は、直ちにランプ及びブラケット等の取付け部を点検、増し締めしてください。</li> <li>●配線作業する前に、必ずバッテリーのアース側端子を外してください。ショートにより火災となることがあります。(バッテリーの端子を脱着する場合は必ずエンジンスイッチ及びライティングスイッチをOFFにしてください。)</li> <li>●ランプを取付け、配線する際は、必ず本製品の付属品をご使用ください。</li> <li>●コードが車両や他の部品と接触する恐れがあるところは、損傷防止と振れ止めのため、クランプ又はビニールテープで固定してください。損傷しショートにより火災となることがあります。</li> </ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品は12V専用です。12V車に使用してください。</li> <li>●本製品は十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱い条件、走行条件によっては、破損し点灯不良等の恐れがあります。保管、取付け作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。</li> <li>●本製品取付け後に衝突などの強い衝撃を受けた場合、取付け部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をおやめください。</li> <li>●お乗りのお車が充電制御車の場合、本製品を直接バッテリーに接続しないでください。充電制御車は通常のお車に比べ、バッテリーへの負荷が高いため、バッテリー上がりの原因となることがあります。</li> <li>※充電制御車とは、走行状態とバッテリーの充電状態に応じてオルタネーター(発電機)を制御するシステムを搭載した車のことです。</li> <li>●バッテリー保護のため、エンジン停止時の長時間点灯はお避けください。</li> <li>●汚れを落とす際は、中性洗剤を使用してください。溶剤を使用するとレンズ割れ等により点灯不良となる場合があります。溶剤が付着してしまった場合は、付着した溶剤を直ちに流水で洗い流してください。</li> <li>●車両を傷つけないよう注意して穴あけ作業をしてください。</li> <li>●スクルー・ボルト・ナットの締め付けは適切な工具を使用してください。しっかり固定できずに外れたりして危険です。</li> <li>●スクルー・ボルト・ナットは、指定の締め付けトルクに従って締め付けてください。強く締め付けると破損の原因となります。</li> <li>●ランプ上端に吸排気孔がつけられていますので必ずランプが正立するように取付けてください。レンズ曇り、水侵入による故障となることがあります。</li> <li>●コードはプッシング根元で急激に曲げないでください。プッシングに隙間が生じ、水・ホコリが侵入する恐れがあります。</li> <li>●吸排気孔のキャップは外さないでください。水侵入による故障となることがあります。</li> <li>●ランプの⊕⊖を間違えない様、接続してください。故障となります。</li> <li>●車両のハーネスを強く引っ張らないでください。</li> <li>●車両のコネクターを外す際は、コード線を引っ張らず、コネクター本体を持って外してください。</li> <li>●取付け終了後、ヘッドランプ等の灯火類、ワイパー等が正常に作動するか確認してください。</li> <li>●バッテリーのアース端子を外すと、時計、ラジオ、オーディオ等のメモリーが消えますので、作業終了後復元してください。(復元の仕方は、車両の取扱説明書を参照してください。)</li> <li>●フォグランプは車幅灯、尾灯、番号灯が消灯している場合には点灯出来ません。</li> </ul>

**POLARG 日星工業株式会社**

〒424-0055 静岡県静岡市清水区吉川790番地 TEL.054-347-0311 FAX.054-347-0314

<https://www2.nissei-polarg.co.jp>